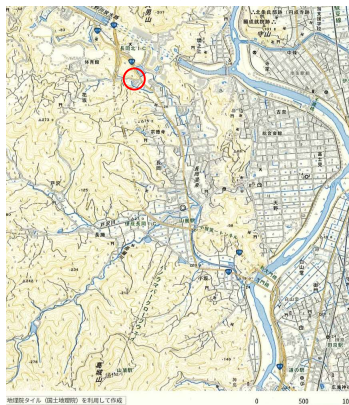


伊豆の国市

ため池（大堤池）



状況写真



活用制度

- ・団体営ため池等整備事業

関係者

- ・静岡県・伊豆の国市

問い合わせ

伊豆の国市産業部農林課
TEL: 055-948-1460

◎事例概要

本池は、伊豆の国市長岡地内に位置し、ため池の機能のほかに親水公園としても市民に親しまれている場所である。

水田の減少により、農業用の水源としての利用見込みがなく、また、耐震基準も満たしていないことから廃止予定のため池であったが、近年の短時間豪雨等の自然災害による被災を未然に防止するため、洪水調整機能を残置した雨水調整池として整備を予定している。

◎P R ポイント

伊豆の国市と姉妹都市の関係にあった京都府長岡京市の八条ヶ池をモデルに、大堤池の周囲には散歩できるような回廊を設け、池の中には噴水を設置することで、市民が憩うことができる公園として整備されており、雨水調整池としての機能を持たせることで地元住民に防災減災施設としても周知をすることができ、地域住民の意識向上も図れる。

田んぼダムの取組

【袋井市】

- (二)沖之川 (準)松橋川
- (二)蟹田川 (普)国本排水路



活用制度

関係者

- ・袋井市 土木防災課
- ・袋井市 農政課

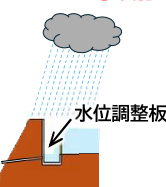
問い合わせ

袋井市 土木防災課
TEL: 0538-44-3166

「田んぼダム」未実施



「田んぼダム」実施



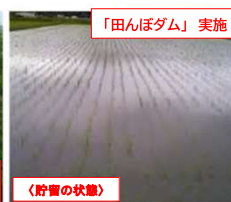
水位調整板を設置した排水柵



〈水位調整板〉



通常の状態

「田んぼダム」未実施
排水量多い「田んぼダム」実施
排水量少ない

〈貯留の状態〉

これまで取組面積(ha)	R4	R5	R6	R7
沖之川流域	10	10	28	13
蟹田川流域	—	16	18	52
合 計	10	26	46	65

◎事例概要

本市の「田んぼダム」は、水田の排水柵に設置する堰板をV字型の切込みが入った水位調整板に変更するだけで、「田んぼ」が持っている雨水を貯める機能を高め、ゆっくりと排水することで降雨時に下流河川や排水路の水位上昇を抑制する仕組みである。

令和4～5年に静岡理科大学とともに実証実験に取り組み、貯留効果やピーク流出量（最大流出量）の抑制効果を確認した。また、営農への影響については、アンケートや聞き取り調査を行い、「収穫量や品質に影響はなかった」との回答が得られているが、地域差や品種等による影響も考えられるため、浸水常襲地区において、取組範囲を拡大させながら、浸水軽減効果や多くの耕作者の意見を伺うなど、課題を把握したうえで地域全体への展開に繋げていく。

◎P R ポイント

水位調整板1枚で、田んぼへの貯留、下流河川への流出抑制が可能

浜松市

馬込川水系馬込川

位置図

事業箇所

活用制度

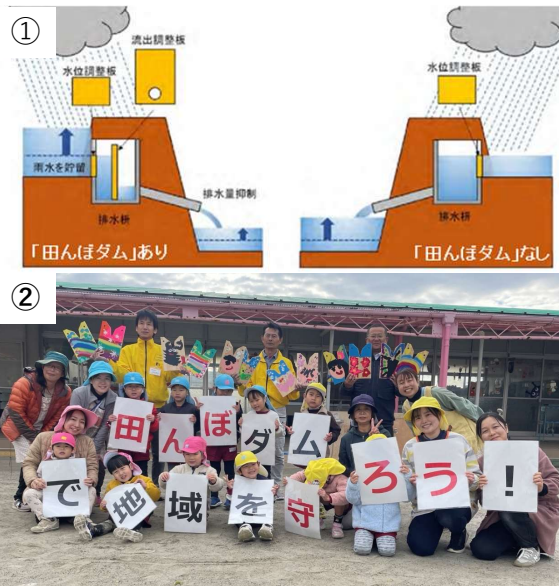
- ・ 浜松市田んぼダム
流量調整板支給事業

関係者

- ・ 土地改良区
- ・ 地域住民

問い合わせ

浜松市農地整備課
TEL: 053-457-2314



- ① : 「田んぼダム」の仕組み
出典 農水省
「田んぼダム」の手引き
- ②, ③ : 浜名区での堰板授与式の様子

◎事例概要

田んぼがもともと持っている「水を貯める機能」を有効活用し、大雨が降った時、一時的に田んぼに雨水を貯めることで、排水路や河川の水位が急に上がることを抑える取組です。

浜松市では流量調整版支給事業を活用し、田んぼダムの取り組み希望者を対象に堰板の配布を行っており、令和7年12月末までに18.5haの田んぼに水田貯留用の堰を配布しました。

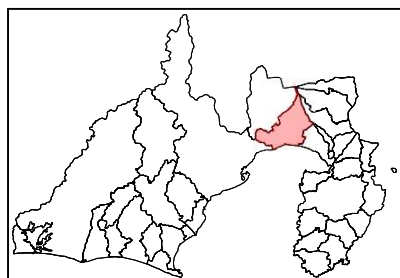
◎PRポイント

支給する堰板には浜松市産の天竜材を使用しています。
浜松市では地域ぐるみで環境保全と防災意識を高めるため、幼稚園の園児が堰板へイラストなどを描き、地元のコメ生産者らへ贈る取り組みを行いました。
排水桝の寸法に合わせた複数の種類の堰板を用意し、希望者のニーズに応えています。

防災アプリ「防災ふじ」を活用した避難行動要支援者の避難支援体制構築

富士市

市内全域



活用制度

- ・ 地震・津波対策等
減災交付金

関係者

—

問い合わせ

富士市防災危機管理課
TEL: 0545-55-2936



いざという時に役立つ様々な便利機能を搭載！



防災アプリ「防災ふじ」

災害時の避難支援機能（防災ヘルプ機能）



避難行動要支援者の支援機能について

◎事例概要

「防災情報がまとめてわかる」をコンセプトとした防災アプリ「防災ふじ」を令和5年11月にリリース。防災情報を手軽に入手できる一般機能のほか、災害時に災害時避難行動要支援者（以下、要支援者。）と支援者がマッチングし、避難支援を行う防災ヘルプ機能も搭載しており、平時から災害時まで広く活用ができるよう整備した。

<アプリの利用状況（R8.2末時点）>

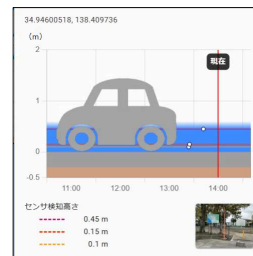
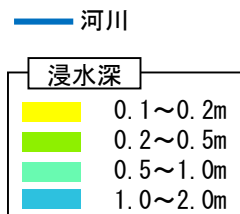
総ダウンロード数：20,473件、登録済みの要支援者数：734人、支援者数：1,112人

◎PRポイント

一般機能は、防災マップや災害リスクを調べる機能、マイタイムライン作成機能等を搭載。災害時は避難施設の混雑状況が確認できる。

防災ヘルプ機能は、避難情報の発令を自動感知して立ち上がり、事前に登録した要支援者が周辺の支援者に支援要請を行い、安否確認や避難施設への避難支援を行うことを想定している。

静岡市 (二) 巴川



2025年9月5日の洪水時に市民に公表した
巴川浸水情報システム表示画面の例

活用制度

- ・ 巴川水系効果促進事業

関係者

- ・ 静岡県
- ・ 国土交通省
- ・ 気象庁
- ・ 静岡市民（巴川流域住民）

問い合わせ

静岡市建設局土木部河川課
TEL: 054-221-1087

◎事例概要

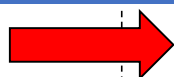
(二) 巴川は静岡市を流れる県管理河川であり、複数の遊水地や放水路が存在し、外水氾濫の他、支川へのバックウォーター現象や流入下水道の排水能力等、様々な要因で浸水が生じている。本システムは、河道特性や浸水要因となる事象を考慮した解析が可能な、河川水位・浸水予測モデルを用い、天気予報データをインプットすることで、巴川や支川の水位や氾濫域を予測し、市民の事前の避難行動等につなげる情報を提供している。

◎P Rポイント

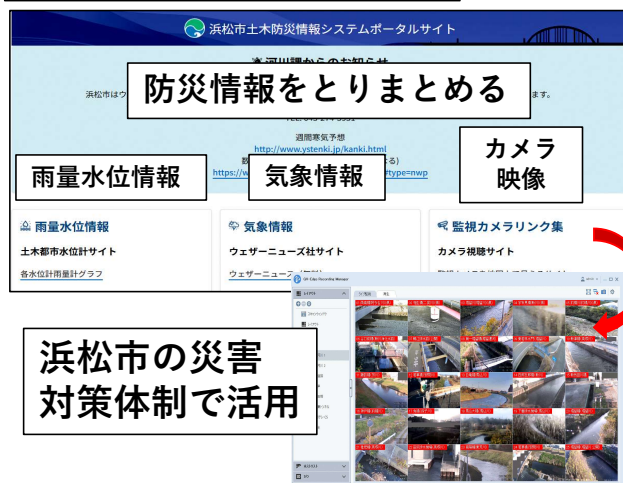
- ・ 避難指示や高齢者等避難などの避難情報を発令するための判断材料に活用でき、早期に市民への情報提供が可能
- ・ 職員が流域全体でリスクの高いエリアを確認できるため、現地確認の優先順位を決定できる。
- ・ 浸水センサーの観測結果を本システムに導入することで、より精度の高い浸水範囲を表示することが可能
- ・ 浸水面積が可視化できるため、今後の浸水対策検討に活用できる。
- ・ 流域全体のシミュレーションモデルを構築できたため、新たな治水対策の検討が可能

防災情報発信の強化（浜松市土木防災情報システム）

浜松市での防災情報収集



市民公開（カメラ,水位,雨量情報）



浜松市

関係者

- ・ 国土交通省中部地方整備局
- ・ 静岡県
- ・ 浜松市

問い合わせ

浜松市河川課
TEL: 053-457-2452

◎事例概要

浜松市が設置している河川カメラ・水位計・雨量計及び国や県が設置している河川カメラ・水位計・雨量計の情報を浜松市土木防災情報システムに集約し、市民公開しています。

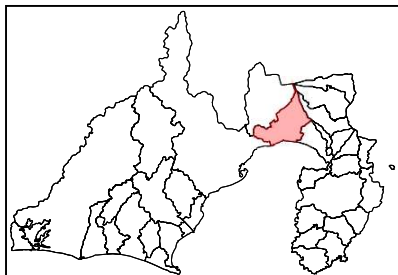
◎P Rポイント「迅速な防災情報の提供」

“ひとつのサイト”でカメラ映像、水位、雨量をリアルタイムで確認することができ、市民の迅速な防災情報の把握につなげています。

[illegible]

富士市

浸水常襲地区



活用制度

—

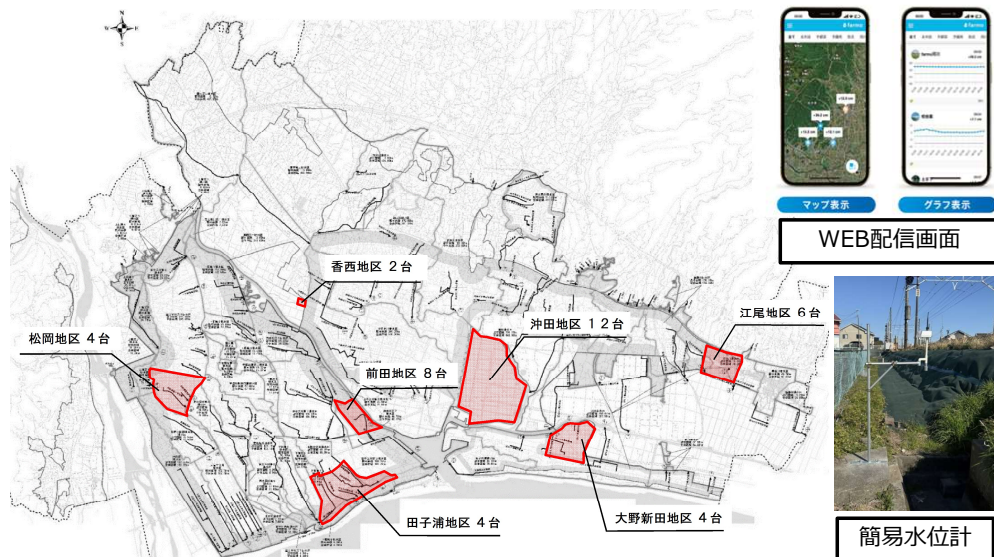
関係者

—

問い合わせ

富士市河川課

TEL: 0545-55-2834



◎事例概要

内水浸水被害が頻繁に発生している地区に、水位情報を把握するため、計40か所の水位計を設置している。豪雨が予想される際には、職員が河川状況を確認することで迅速な水防活動につなげている。また、市民にも情報を公開し避難行動での活用を促している。

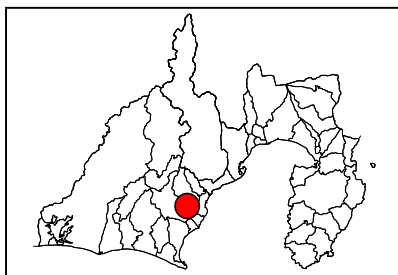
◎P Rポイント

設置している水位計は、5分間隔で水位を計測・表示する機器となっており、太陽光発電による稼働のため電源・配線工事や電池交換が不要な機器となっている。また、計測したデータも蓄積されるため、雨量との相関関係などのデータ整理にも活用が可能となっている。

リアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の普及活動

島田市

市内全域



活用制度

—

関係者

危機管理型水位計運用協議会

問い合わせ

島田市危機管理課

TEL: 0547-36-7143

波田川設置の水位計



南原沢川設置の水位計



◎事例概要

★島田市防災メール、島田市水防メール、島田市公式LINE

迅速な水防活動を支援するためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の普及活動を実施

▶危機管理型水位計・河川監視カメラ等を整備

◎P Rポイント

気象情報や地震情報などの緊急情報を素早く伝えるため、島田市防災メールの配信を行っている(24時間365日)。気象関連情報のほか、同報無線の放送内容についても放送と同時に配信しているため、建物内や大雨時の屋外など放送が聞き取り難い状況下であっても、放送内容を文章で内容を確認することが可能であり、災害時の備えとして有効な情報伝達手段として多くの方に登録をいただいている。

また、川の氾濫の危険度を把握や避難の指標として情報提供することを目的に洪水時に特化した水位観測を行う危機管理型水位計を設置することにより、住民自らが川の水位情報を収集すること可能とし、早期避難を支援、逃げ遅れによる被害を防止している。

函南町（町内全域） 来光川・柿沢川

位置図



国土交通省浸水センサ表示システム



現地写真



関係者

- ・国土交通省
- ・民間企業

問い合わせ

函南町 建設経済部 建設課
TEL: 055-979-8115

◎事例概要

函南町水災害対策プランの対策メニューとして新規追加予定

【対策名】被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

【施策名】避難体制の強化

【概要】冠水頻度の高い箇所ワンコイン浸水センサを設置。

令和5月9日設置完了（町内10箇所）※地上高15cmで設置。

◎PRポイント

ワンコイン浸水センサの設置により、早期避難及び道路パトロールの省力化の推進を図る。スマートフォンからも閲覧可能であり、アナウンス機能の追加により更なる省力化に繋がっている。

ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

吉田町坂口谷川



活用制度

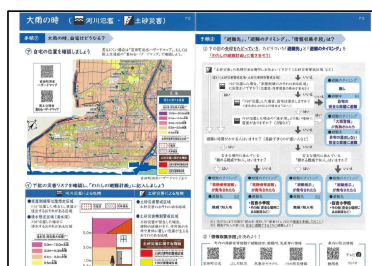
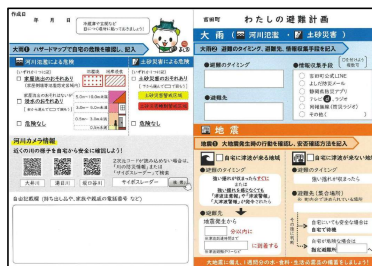
- ・地震・津波対策等
減災交付金事業

関係者

- ・静岡県危機管理部

問い合わせ

吉田町防災課
TEL: 0548-33-2164



◎事例概要

『わたしの避難計画』とは、身の回りの災害リスクに備えて、「どのタイミング」で「どこに」避難するか、一人ひとりがあらかじめ作成し整理したもの。

町内イベント及び町内小中学校の防災教育で、『わたしの避難計画』を周知。

◎PRポイント

地震・津波対策等減災交付金事業の実施に当たり、わたしの避難計画がんばる市町に認定。

清水町
狩野川



活用制度

・わたしの避難計画事業

関係者

自主防災会
消防団

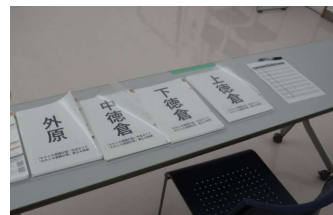
問い合わせ

清水町くらし安全課
TEL: 055-981-8205

R6地域防災訓練



R7地域防災訓練



◎事例概要

住民が主体的な避難行動につなげるための取組として、令和6年度と令和7年度の地域防災訓練の際に「わたしの避難計画」を活用して、避難先や避難のタイミングといった災害時の行動をあらかじめ計画することで、自助の促進をはかった。

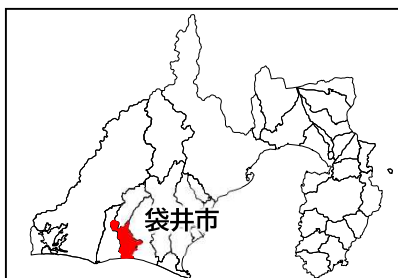
◎P R ポイント

防災訓練に合わせることで、区の防災役員のみへの説明のみならず、多くの住民・消防団員に作成の呼びかけをすることができた。
地震のような突発的な災害や風水害のように気象情報から時系列で行動を整理できる災害といった、災害ごとの行動要領の確認をした。

地域防災力の強化

【袋井市】

(二) 太田川
(二) 原野谷川ほか



活用制度

関係者

・袋井市 危機管理課
・袋井市 消防団

問い合わせ

袋井市危機管理課
TEL:0538-86-3701



消防団（水防団）員の水防演習



消防団（水防団）員への水防工法講習会

◎事例概要

出水時期を迎えるにあたり、消防団（水防団）員に対し、水防工法の講習会などの座学訓練とともに、水防演習等による土のう積工などを実施している。

また、洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、備蓄資材の拡充、水防倉庫の維持管理を継続的に実施している。

◎P R ポイント

磐周支部（磐田市、森町、袋井市）合同で水防演習を実施し、知識や技術の向上に努めている。

伊豆の国市



関係者

- ・市内小中学校
- ・チーム防災いずのくに
- ・伊豆の国市

問い合わせ

伊豆の国市総務部危機管理課
TEL: 055-948-1482



◎事例概要

市内小中学校において、「防災教育」を支援

- ・中学校については、防災講座（狩野川台風と令和元年台風19号との比較）と土のう作り体験を実施。
- ・小学校については、段階を追った防災講座（ハザードマップの見方・クロスロード・防災カルタ等）を行い、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。

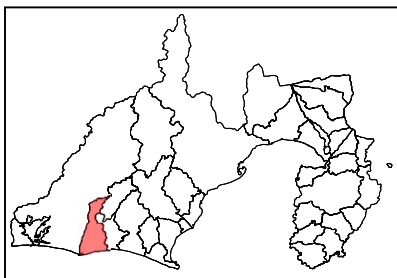
◎P R ポイント

- ・防災講座を通じて、中学生の作った土のうについては、地域の風水害に役立てている。
- ・小学生については、防災講座を通じて防災に興味を持ってもらい、自ら防災すごろくの作成やポスターの作成をしてもらった。

民間施設の一部を緊急避難場所として住民の安全確保

磐田市

敷地川ほか



活用制度

—

関係者

- ・企業

問い合わせ

磐田市危機管理課
TEL: 0538-37-2116



◎事例概要

市内の企業等と災害時応援協定を締結し、大雨による洪水が懸念される際に、企業の敷地の一部を、人や車両の緊急避難場所として利用できるようにしている。

◎P R ポイント

協定を通じて事前手続きや受け入れ体制を整え、避難時の誘導・受け入れがスムーズに行われることを強調します。混乱を最小化し、安心感を提供します。また、企業に無理をさせないよう、ルール設定や一定のエリアの住民を対象にするなどの工夫をしている。

(排水ポンプ車)

排水ポンプ車概要	
納車日	令和6年7月23日
必要免許	中型免許
	旧普通免許 中型車8t限定
車両寸法	車幅2.3m×車長7.7m×車高2.7m
タンク容量	250L
稼働時間	9時間+4時間(車両燃料)=13時間
排水ポンプ	4台(1台あたり 7.5m ³ /分)
排水揚程	10m
排水能力	7.5m ³ /分 × 4台 = 30.0m ³ /分
ケーブル延長	40m
ホース	10m × 4巻 = 40m分
	20m × 8巻 = 160m分



(排水ポンプパッケージ)

排水ポンプパッケージ概要	
納品日	令和6年6月5日
運搬車両	4tクレーン付トラック(ロング)
必要運転免許	中型免許
	旧普通免許 中型車8t限定
作業必要資格	小型移動式クレーン 玉掛け
発電機	W1850×D880×H1250 1100kg
発電機タンク容量	100L
パッケージ	W1600×D1200×H1500 915kg
稼働時間	9時間
排水ポンプ	φ200mm 2台 (5.0m ³ /分)
ポンプ重量	約35kg/台
排水揚程	10m
排水能力	5.0m ³ /分 × 2台 = 10.0m ³ /分
ケーブル延長	40m
ホース重量	約30kg/本
ホース	20m × 4巻 = 80m分



沼津市

活用制度

- ・緊急自然災害防止対策事業

問い合わせ

沼津市建設部河川課
TEL: 055-934-4786

◎事例概要

近年激甚化する豪雨災害に備え、非常時に機動的に運用可能な排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ(2台)を令和6年度に導入しました。活用内容としては、常襲浸水地域(西添町地区・大平地区)へ出動、内水排除活動を実施し、浸水被害軽減に努めております。

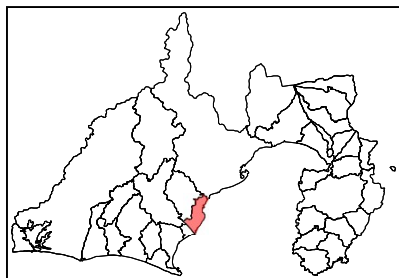
◎P R ポイント

排水ポンプ車は、4t車をベースにしております。排水能力は1分間に7.5tの水を排出可能なポンプを4台搭載しております。一般的な25mプールであれば、約10分で水を排出することができます。稼働時間は最大で約13時間稼働することができます。

次に排水ポンプパッケージの排水能力は、パッケージ1台あたり1分間に5.0tの水を排出可能なポンプを2台搭載しております。一般的な25mプールであれば、約30分で水を排水することが可能です。稼働時間については、最大約9時間となっております。

排水ポンプ車等の増設

焼津市



活用制度

- ・緊急自然災害防止対策事業債

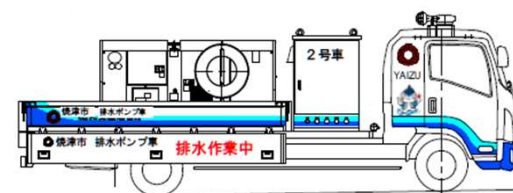
関係者

- ・焼津市
- ・焼津建設工業会
- ・(協)大井川建設業協会

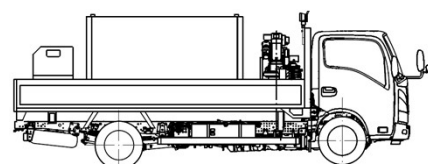
問い合わせ

焼津市河川課
TEL: 054-626-1118

新たに導入する排水ポンプ車



新たに導入する可搬式排水ポンプ



令和7年台風第15号における
排水ポンプ車の出動状況



◎事例概要

頻発化する豪雨災害に対して、新たに排水ポンプ車1台と可搬式排水ポンプ1台を増設し、より迅速な排水作業による浸水被害の軽減・早期復旧に向けた水防活動の強化を図る。

◎P R ポイント

市内を流下するすべての1級河川、2級河川の河口部に位置する本市は、地形的要因から潮位の影響による内水氾濫により、沿岸部を中心に浸水被害を受けやすく、既存の排水ポンプ車を含めた3台の排水ポンプ車による、緊急時の迅速な内水排除体制の構築は、流域の安心・安全の向上に寄与するものである。

また、排水ポンプ車の操作運用を地元の建設業関係団体に委託し、迅速かつ安全な作業体制を構築し水防体制の強化を図る。

吉田町坂口谷川



活用制度

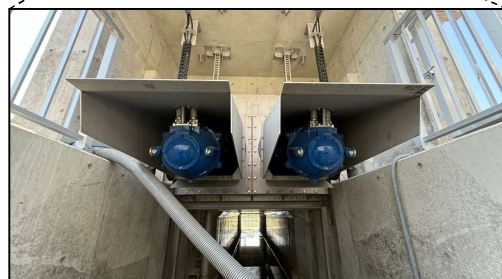
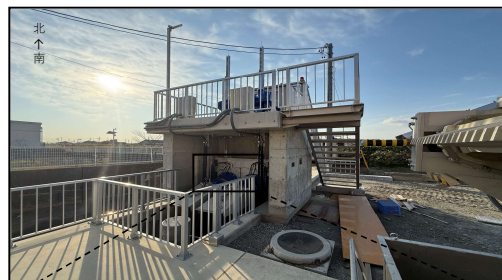
・緊急自然災害防止
対策事業債

関係者

・静岡県交通基盤部
河川砂防局

問い合わせ

吉田町建設課
TEL: 0548-33-2123



◎事例概要《 $0.26\text{m}^3/\text{s}$ （現況） $\Rightarrow 0.86\text{m}^3/\text{s}$ （増設）（ $0.60\text{m}^3/\text{s}$ 増強）》

近年、水害が頻発化・激甚化する中、国では降雨量の増加への対策検討が進められている。

「坂口谷川水災害対策プラン」に基づき、短期対策に位置付けられた静岡県榛原郡吉田町普通河川宮裏川河口部における吉田町第3号ポンプ場整備。

◎P Rポイント

ポンプ場を整備することにより、床上浸水を解消し、道路冠水を軽減。

可搬式排水ポンプの設置

吉田町坂口谷川



活用制度

・緊急自然災害防止
対策事業債

関係者

・吉田町牧之原市広域施設組合
・グラウンドゴルフ協会

問い合わせ

吉田町建設課
TEL: 0548-33-2123



◎事例概要《 $0.25\text{m}^3/\text{s} \times 2 = 0.50\text{m}^3/\text{s}$ （新設）》

近年、水害が頻発化・激甚化する中、国では降雨量の増加への対策検討が進められている。

「坂口谷川水災害対策プラン」及び「吉田町湯日川流域治水対策計画」に基づき、短期対策に位置付けられた可搬式排水ポンプ2基を購入。

◎P Rポイント

水防活動に使用する可搬式排水ポンプを整備することにより、水害時の災害対応能力の向上。